

いわて知的財産権セミナー in 盛岡 食品製造業における“目立つ”商品開発のための知財活用術

1. 日 時 平成31年1月30日
2. 主 催 岩手県
3. 共 催 日本弁理士会東北支部、岩手県工業技術センター、
いわて産業振興センター、岩手県中小企業団体中央会、
岩手県知財総合支援窓口
4. 場 所 岩手県工業技術センター 1階 小ホール
5. 講 師 弁理士 野崎 俊剛（岩手県からの依頼）
弁理士 村雨 圭介（日本弁理士会東北支部からの派遣）
6. 出席者 21名
7. 内 容

本セミナーは、岩手県と日本弁理士会の知財協定に基づく事業の一環として、県内食品製造業企業やその支援機関等を対象として開催された。

セミナーは二部構成となっており、最初に第一部として、「知財情報データベースを活用した商品開発」というテーマで、特許情報プラットフォームの使い方や、商品開発に利用できる特許情報の抽出の仕方が解説され、実際にスマートフォン等を用いて出席者に検索を行ってもらった演習も行われた。

続いて第二部として、「他社商品との差別化を図って商品力をアップさせる方策」というテーマで、食品製造業における商標権や意匠権の活用事例の紹介から始まり、食品製造に関してどのような形で特許権が存在し得るのか、ノウハウ管理も含む製造方法の保護手法、海外展開時に注意すべきことまで、広範な内容が説明された。

出席者はどなたも真剣に聞き入っている様子で、講義後には実際の事業に絡めた多くの質問が個別になされていた。



（報告者： 日本弁理士会東北支部 村雨 圭介）